

「主任介護支援専門員更新研修の事例提出について」

主任介護支援専門員更新研修受講にあたり、次の資料を提出してください。

1. 提出事例

(1) 事例の内容

各自がケアマネジメントした事例ではなく、他の介護支援専門員に対して指導・支援等を行った実践事例であること。(※自分の事例ではありませんのでお気をつけください)

(2) 提出する事例数

7類型のうち2類型以上の内容が備わっていること。

なお、1事例で2類型以上が備わらない場合は、2事例以上で2類型以上を満たした内容での事例提出を可能とします。

※詳細は、別添「指導事例の類型等について」ご参照

2. 提出資料

下表のとおり、各指定の様式で提出をお願いします。

※愛介連ホームページ：<https://www.aichi-kaigo.org/>

資料名	様式	
提出物一覧	指定様式	ホームページより出力
申込の際の自動返信メールをプリントアウトしたもの		申込フォームから申込んだ後の自動返信メール
①提出事例のアセスメントシート	指定（様式①）	ホームページより出力
②-1 ケアプラン（指導前） ・検討してほしい時期前のもの ※新規ケース等はなくても可	任意様式	事業所で使用しているもの（居宅、施設、予防のいずれでも可）
②-2 ケアプラン（指導後） ・検討してほしい時期後のもの	任意様式	事業所で使用しているもの（居宅、施設、予防のいずれでも可）
③指導対象者評価表	指定（様式②）	ホームページより出力
④課題整理総括表	任意様式	事業所で使用しているもの等（右上に作成者を記載「担当ケアマネ」又は「主任ケアマネ」）
⑤指導経過記録	指定（様式③）	ホームページより出力
⑥その他必要と思われる書類 等	任意様式	

※指定様式の書類は、必ずこの様式を使用。事業所独自の様式は受付しません。

記載内容等に不備や不足のある場合は再提出していただきます。

以下のものは、研修時に手持ち資料としてご用意ください（**事前提出の必要はありません**）

居宅介護支援経過記録	任意様式	検討時期の前後それぞれ2か月程度 相談開始時期を記入
サービス担当者会議の要点	任意様式	検討してほしい時期に必要なもの

3. 注意事項

(1) 個人情報保護について

利用者及び介護支援専門員等の個人情報保護のため、以下の例に従って記入して下さい。

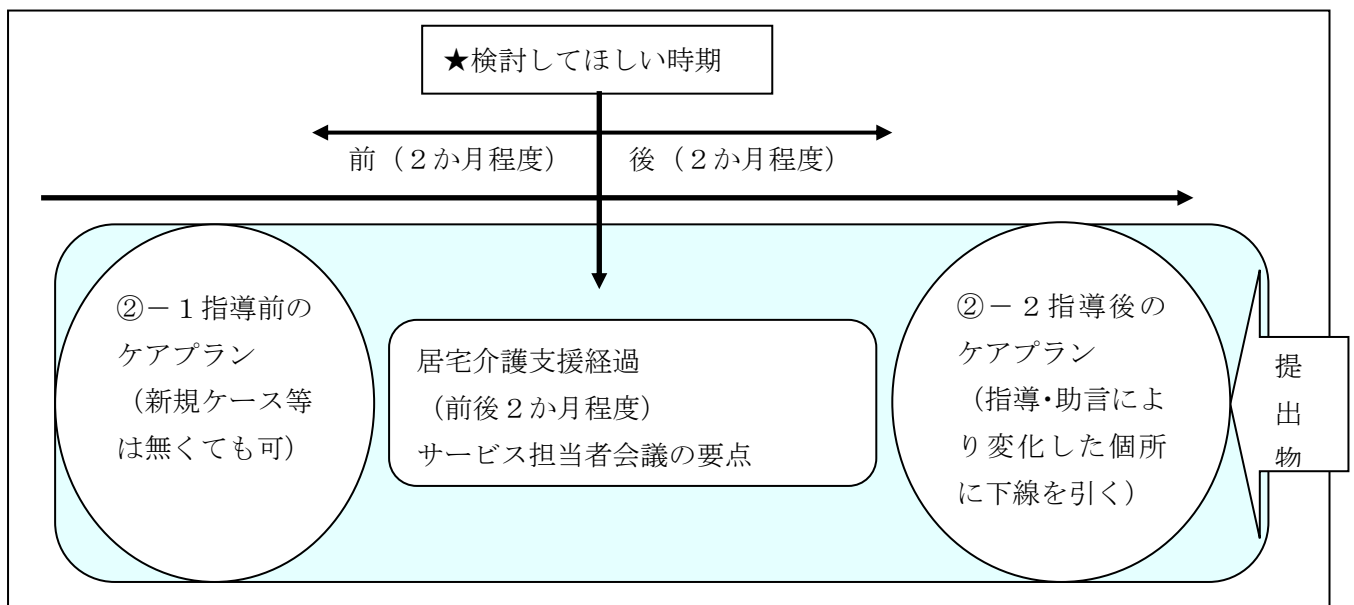
利用者名	記号（A・B等）で記入しイニシャルは使用しない
介護支援専門員等	記号（A・B等）で記入しイニシャルは使用しない
事業所名	記号で記入（例：C居宅介護支援事業所 D医院 Eデｲｰﾋﾞｽ 等）
住所・電話番号	記入しない
生年月日	年齢のみ記入する

※個人が特定されるような表現はしないようにお願いします。

(2) 送付にあたっての留意事項

上記「2. 提出資料」の①～⑥を番号順に並べ、各用紙の下中央にページ番号（1から順番）を付して「提出物一覧」「自動返信メールのプリントアウト」を表紙にして（付箋などは貼り付けない）郵送で提出（※1月14日（火）必着）

「②ケアプラン」「居宅介護支援経過」「サービス担当者会議の要点」の対象期間は、下記の通りです。



4. 問合せについて

一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会 事務局

【〒460-0017 名古屋市中区松原三丁目7番15号】

愛介連ホームページ <https://www.aichi-kaigo.org/> 「愛介連」で検索

- ・受講要件、提出事例等各種のご質問については、メールに限っての対応にさせていただきます。
(aikairen2016@gmail.com)
- ・メールの件名欄に「事例提出について」とお書きください。

【回答要領】

・回答は、原則、メール返信で回答しますが、愛介連のホームページのQ&Aで回答する場合がありますのでご注意ください。 <https://www.aichi-kaigo.org/>

※確認作業のためお時間のかかる場合がありますのでお含みおき下さい。

※研修に関する連絡事項やアンケート・資料配布等をホームページより行う予定にしておりますので愛介連ホームページを注視しておいてください。

一般社団法人愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会ホームページ

<https://www.aichi-kaigo.org/> 「愛介連」で検索

【重要】事例の書き方オンライン説明会を開催します（参加無料）

令和6年12月11日（水） 13時30分～ 15時00分

Zoomで開催します。

ミーティング ID: 854 7899 5475

パスコード: 914843

※説明会での質問は受けません。ご質問はメールでお問い合わせください。

指導事例の類型等について

平成28年度より法定研修体系が改正され、主任介護支援専門員更新研修の受講には指導・支援の事例提出が必要であり、事例の提出がない場合は受講・修了ができません。

(1) 事例の内容

各自がケアマネジメントした事例ではなく、**他の介護支援専門員に対して指導・支援等を行った実践事例であること。**(※自分の事例ではありませんのでお気をつけください)

(2) 提出する事例数

提出事例（指導した事例）は7類型のうち2類型以上の内容が備わっていること

- ・ 2類型以上が備わった事例を1事例
- ・ 1事例で2類型以上が備わらない場合は、2事例以上の提出で満たしてください

※類型とは、下記の【研修で使用する類型】に掲げる1～7を指します

※可能であれば1・2・5・6のどれかの類型を含む事例提出にご協力ください。

【研修で使用する類型】

類型	課目名	キーワード例
1	脳血管疾患のある方のケアマネジメントに関する事例	脳梗塞や脳出血、くも膜下出血、硬膜下出血、頭部外傷など 片麻痺、摂食嚥下障害、言語障害（失語症・構音障害）、高次脳機能障害、血管性認知症など
2	大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関する事例	大腿骨頸部骨折、脊椎圧迫骨折、骨粗鬆症、変形性股関節症、変形性膝関節症、関節リウマチ、後縦靭帯骨化症、脊椎損傷、廃用症候群、フレイル、脊柱管狭窄症など
3	認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメントに関する事例	アルツハイマー型認知症、血管性認知症、レビー小体型認知症、前頭側頭型認知症 MCI.（軽度認知障害）、若年性認知症など
4	誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメントに関する事例	誤嚥性肺炎になったケース・もしくは、可能性の高いケース。誤嚥性肺炎の予防が必要なケース（口腔機能が低下・嚥下機能が低下・むせが有る、口腔ケアの必要性、食事に時間の介助が必要なケースなど）
5	心疾患のある方のケアマネジメントに関する事例	狭心症、心臓弁膜症、虚血性心疾患、不整脈、急性・慢性心不全などの心疾患 また、高血圧症のある方で高血圧剤を服薬しているケース
6	看取り等における看護サービス活用に関する事例	終末期ケア、過去に看取りを行ったケース、訪問看護と連携したケース終末期においてACPを行ったケース、心疾患Ⅱ期で急性増悪を繰り返しているケース、いずれ「看取り」になる可能性の高いケース
7	家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例	家族支援、他法他制度との連携および活用（難病、高齢障がい者、生活困窮、生活保護、精神疾患、高齢者虐待など） ヤングケアラー、仕事と介護の両立支援、重層的支援など

(注) キーワードはあくまでも参考であり、記載内容だけに限定されるものではありません